

日本広報学会 第27回研究発表全国大会 プログラム (Zoom ID 付き)

【1日目:10月9日(土)】

ID: 862 1966 2932 (1日目は終日同じウェビナーIDを使用します)

10:15~10:25 開会式

柴山慎一 (日本広報学会理事長/社会情報大学院大学)

国枝智樹 (大会運営委員会委員長/上智大学)

10:30~12:30 統一論題① 基調講演

「広報教育の発展とデジタル・トランスフォーメーション」

田中道昭氏 (立教大学ビジネススクール教授)

12:30~14:00 昼食休憩

14:00~16:00 統一論題② パネルディスカッション

「広報教育の発展とデジタル・トランスフォーメーション」

パネリスト(五十音順):

伊吹勇亮 (京都産業大学 経営学部准教授)

駒橋恵子 (東京経済大学 コミュニケーション学部教授)

鈴木孝徳様 (井之上パブリックリレーションズ 代表取締役社長兼 COO)

本田哲也様 (本田事務所 代表取締役社長)

モデレーター:

真部一善 (オフィス・マーベリック)

16:05~16:20 学会賞表彰式

小早川護 (学会賞委員会委員長/北海道大学)

2021年度学会賞受賞者

【2日目:10月10日(日)】

自由論題口頭発表(午前の部)

Room 1 (午前) ID: 952 5456 7081	
09:25 ～ 09:30	自由論題口頭発表の運営方法についての説明
09:30 ～ 10:00	ネタバレが購買意図に与える影響 ーストーリー性のない本を題材にー 菜切翔(南山大学大学院)
10:05 ～ 10:35	オンライン上におけるクチコミの動機に関する研究 藤崎実(東京工科大学)
10:40 ～ 11:10	地域通貨の導入をめぐるPRの実践 ー信州・松本エリアの電子地域通貨「AC Pay」を事例としてー 兼清慎一(山梨県立大学)、伊藤泰信(北陸先端科学技術大学院大学)
11:15 ～ 11:45	企業のESGに関する取り組みは企業の価値・ブランドに寄与するか? ー企業の魅力との関係から考察ー 坂本陽亮、陳妃史、横山遼大朗、生井達也、西山友佳子(企業広報戦略研究所(電通パブリックリレーションズ内))

Room 2 (午前) ID: 834 2951 0570	
09:25 ～ 09:30	自由論題口頭発表の運営方法についての説明
09:30 ～ 10:00	コロナ報道とジャーナリズム ーメディアと広報の戦略性と信頼性ー 太田民夫(国際CCO交流研究所)
10:05 ～ 10:35	適応課題を解決するためのコミュニケーション・サイクル ー第3次経営コミュニケーション研究会の研究 中間報告ー 斎藤智文(淑徳大学経営学部)、清水正道(CCI 研究所)、田口光彦(ジョイワークス)、ブレッドスミス美奈子(クロスメディア・コミュニケーションズ)、馬淵毅彦(馬淵文筆事務所)
10:40 ～ 11:10	コロナ禍での広報活動についての事例研究 ークライシス発生時の初期対応についてー 駒橋恵子(東京経済大学)
11:15 ～ 11:45	コロナ禍における国公立大学広報の今 ー全国調査からー 谷ノ内識(追手門学院)

Room 3 (午前) ID: 822 7004 4688	
09:25 ～ 09:30	自由論題口頭発表の運営方法についての説明
09:30 ～ 10:00	インターン体験研修「PR Camp」と「ジュニアカレッジ」 －Z世代に向けた広報教育の可能性－ 田代順(マテリアル)
10:05 ～ 10:35	メディアトレーナー育成研究に必要な視点とは －公開動画の考察とAI活用の可能性－ 石川慶子(シン)
10:40 ～ 11:10	クリエイティブ・クラスの移住と自治体広報 －聴き取り調査と参与観察を中心に－ 佐藤達郎(多摩美術大学)
11:15 ～ 11:45	主体性からはじめるチーム作り循環モデル構築の試案 －実例考察から－ 嶋谷光洋(アイマム)

ランチョンセッション

ウェビナー ID: 874 5304 1241	
12:00 ～ 13:00	PR業界の課題とDX推進の必要性 渡辺幸光様 (プラップノード株式会社 代表取締役 CEO ／浦和大学 社会学部 非常勤講師)

自由論題口頭発表(午後の部)

Room 1 (午後) ID: 957 4362 0293	
13:15 ～ 13:45	情報環境の変化に対応するコミュニケーション・インテグリティの重要性について －近年の企業ネットリスク対処事例からの検証と考察－ 楯美和子(東京経済大学大学院)
13:50 ～ 14:20	広報・コミュニケーション機能の理論モデルに向けて －一つのラフ・スケッチの試み－ 宮部潤一郎(Independent Scholar)
14:25 ～ 14:55	新たな広報概念の構築に向けて(問題提起) －「新たな広報概念の定義」プロジェクトの立ち上げに向けて－ 臼井一起(キックマン)、柴山慎一(社会情報大学院大学)

Room 2 (午後) ID: 865 0258 9017	
13:15 ～ 13:45	中央官庁による公衆衛生に関するマンガ・アニメを起用した広報の可能性についての 考察 －訴求力のある、持続可能な情報発信に向けて－ 成瀬浩史(千葉大学医学部附属病院 次世代医療構想センター)
13:50 ～ 14:20	広報・PR 視点の DX －価値共創時代の新しいコミュニケーションのカタチ－ 大橋行彦(日立製作所)
14:25 ～ 14:55	コーポレート・コミュニケーションとして考察する企業博物館によるオンラインコンテンツ 公開 高柳直弥(大正大学)、栗津重光(国際CCO交流研究所)

Room 3 (午後) ID: 862 8181 6941	
13:15 ～ 13:45	検察庁による広報活動の現状と課題 本田正美(関東学院大学)
13:50 ～ 14:20	各国駐日大使館の Twitter 運用 －89 カ国のアカウントの使用言語に見る外交コミュニケーション－ 西川順子(東京工業大学大学院)
14:25 ～ 14:55	説明できるシティプロモーションに向けた現状と課題 北見幸一(東京都市大学)、河井孝仁(東海大学)

15:10～15:25 閉会式・次回開催校挨拶 ID: 816 1003 2672

国枝智樹(大会運営委員会委員長／上智大学)

濱田逸郎(日本広報学会副会長／江戸川大学)

次期大会開催校運営担当者

【ポスターセッション】

PS-1	「ESG/SDGs と広報」研究会の活動報告 柴山慎一、坂本文武、伊吹英子(社会情報大学院大学)
PS-2	大学における学外連携活動の取り組み ―企業と社会課題を巡る課題― 和田雅子(藤女子大学)
PS-3	関係人口創出に係る地域広報の在り方 河井孝仁(東海大学)
PS-4	広報実務家に対する広報教育の実態把握 ―研究会進捗報告 2021― 伊吹勇亮(京都産業大学)、国枝智樹(上智大学)
PS-5	中小企業における CSR コミュニケーション ―先行研究と研究課題― 山崎方義(愛知産業大学)
PS-6	理論研究部会 2020 ―中間報告 2021― 国枝智樹(上智大学)
PS-7	学校広報と運動部活動研究会 ―活動報告― 尾原弘恭(関西医療大学)
PS-8	中部圏企業における広報課題研究会 ―2021 活動概要― 中田大也(東海テレビプロダクション)、川北真紀子(南山大学)、犬飼貴俊(INUKAI Inc.)
PS-9	組織間連携を通じた広報・広聴のあり方 ―東京 2020 における広聴政策を事例に― 小林塁(同志社大学)
PS-10	対話型意見交換でIC構築の試みを探索 ―21 年度IC事例交流部会の活動報告― 清水正道(CCI研究所)
PS-11	「広報戦略に関する基幹概念の再考と新概念の考察」交流部会 小早川護(北海道大学)、井上邦夫(東洋大学)
PS-12	研究事例・交流部会「CC に関する情報の共有と課題解決に取り組む」<最終報告> 石橋陽(国際CCO交流研究所)
PS-13	九州部会設立と今後の展望 小野豊和(国際CCO交流研究所)
PS-14	九州地域の組織体運営における広報の在り方(事例研究・交流部会) 松田香里(キナックス HD)
PS-15	ライフ・ストーリー・ブランディングの研究(学会助成研究 B) 櫻井光行(尚美学園大学)
PS-16	デジタル・コミュニケーション部会 活動報告 鶴野充茂(社会情報大学院大学)